



第26回国際天文学オリンピックにて 日本代表生徒が受賞しました

このたびオンラインにて開催された「第26回国際天文学オリンピック」に参加した生徒が、銀メダル等を受賞しましたので報告します。

1. 概要

2022年度国際天文学オリンピック日本代表選抜を経て決定した日本選手団が、2022年10月15日から24日にかけてオンラインにて開催された、第26回国際天文学オリンピック (XXVI IAO: II International Remote Astronomy Olympiad) に参加し、1名が銀メダル、2名が銅メダルを獲得しました。

2. 日本選手団

チームリーダー (Team Leader)

中道 晶香 (京都産業大学)

チームリーダー兼審査員 (Team leader - Jury member)

長谷川 隆 (群馬県立ぐんま天文台)

代表生徒

大野 智輝 (麻布高校 1年)

齋藤 元 (東大寺学園中学校 3年)

佐藤 希望 (熊本大学教育学部附属中学校 3年)

塩田 成陽 (広島県立佐伯高等学校 3年)

孫 翰岳 (筑波大学附属駒場高校 3年)

3. 受賞者詳細

銀メダル (II Diploma)

孫 翰岳 (筑波大学附属駒場高校 3年)

銅メダル (III Diploma)

大野 智輝 (麻布高校 1年)

齋藤 元 (東大寺学園中学校 3年)

4. 第26回国際天文学オリンピックについて

参加国数：12 か国・地域

参加生徒数：71名

ホストタウン：マテーラ（イタリア）

開催形式：オンライン（日本国内会場：東京大学木曾観測所）

期間：2022年10月15日～24日

派遣機関：日本天文学オリンピック委員会

発信元

日本天文学オリンピック委員会

Mail: iaojapancommittee@gmail.com

HP: <https://iaojapan.org>

Twitter, Instagram: @iaojapan

参考資料

概要

- ・ 国際天文学オリンピックは、1996年に第1回大会が開催された。
- ・ 2022年のイタリア大会は第26回目である。
- ・ 日本は今大会が初参加。5名の生徒が参加した。
- ・ 本年は12か国・地域から71名の生徒が参加し、日本は銀メダル1名、銅メダル2名であった。
- ・ 来年の開催国は未定である。

日本代表団(参加生徒)の日程

- 10月 16 日(日) 東京大学木曾観測所到着、開会式
- 17 日(月) 理論試験
- 18 日(火) ビジュアル (地図・画像) 試験試験
- 19 日(水) 実技試験
- 20 日(木) 解散、帰宅
- 24 日(月) 閉会式 (各自の自宅よりリモート参加)

国際天文学オリンピックについて

国際天文学オリンピック(The International Astronomy Olympiad, IAO)は、中学生・高校生のための天文学の国際大会であり、選手同士が知的競争を通じて創造性、想像力、および宇宙科学への関心を深めることを目標に、毎年天文学上の秋の最初の2ヶ月（すなわち9月22日から11月22日まで）の間に開催されている。1996年に第1回大会開催され、以降26回開催されている。参加に向けた対策が単にそれ自体を目的とした訓練ではなく有用で有意義な教育課程となることを期待するため、IAOは天文学への興味が最も活発に形成される思春期（14～18歳）の生徒を対象としている。日本代表派遣の検討は日本天文学会においてされていたものの、様々な理由でこれまで行われて来なかったが、2022年度は東京大学等の大学生有志による学生団体主催という形で試行的に派遣を行なった。